

米はイラクの占領支配をやめろ！ 自衛隊をイラクから撤退させよ！

1月20日ブッシュ大統領就任式に全米で大規模に抗議行動

来る1月20日はブッシュ大統領の再就任式です。ブッシュ大統領は一期目の半分、すなわち2年近くをイラク戦争に費やし、最低でも10万人（英医学誌ランセットの報告）ものイラクの人々を殺し、イラクに内戦の危機を生み出すに至っています。私たちは、小泉首相がこのブッシュ大統領の戦争を支持し、日本の平和憲法を踏みにじり、戦争のできる国に日本を作り替えようとしていることに強い危機感を感じます。すでに開戦当時米の同盟軍であった国々が次々にイラクから撤退を始めています。日本の自衛隊も即時撤退すべきです。

サマワに自衛隊をねらった砲弾 現地では自衛隊撤退のデモ

政府がいう「サマワ市民に歓迎されている」は全くのウソです。つい最近もロケット弾が自衛隊宿営地に撃ち込まれました。現地では自衛隊の撤退を求めるデモがおこっています。1月30日総選挙を前に米軍や協力するイラク人への攻撃が激化しています。内戦の危機に陥れる総選挙に日本は協力すべきではありません。3月にはオランダ軍の撤退が始まります。このままでは自衛隊員が殺し、殺される状況がますます切迫することになります。

スマトラ沖地震援助をかたる自衛隊派兵反対！

小泉首相は、スマトラ津波被害に対する「支援活動」と称して、陸海空の3自衛隊を統合して1600名もの海外派兵強行を決定しました。私たちはこれに断固反対します。インドネシア国防省は（自衛隊派兵の）「延長にはインドネシア政府の了承が必要」などと自衛隊の派兵の継続と居座りに強い危機感を表明しました。日本軍国主義の復活を強く警戒しているのです。膨大な犠牲者・被災者の弱みにつけ込む自衛隊の派兵など許されません。

海外派兵の恒常化反対！

政府は通常国会で先送り予定だった海外派兵を本来業務とする自衛隊法改悪を一転して提出する方針です。さらに、「治安維持」や「武力行使」（武器使用基準緩和）さえ組み込んだ「海外派兵恒久法」の強行も策動しています。昨年12月に閣議決定した新しい「防衛大綱」「中期防」を、自然災害による甚大な被害を利用してなし崩し的に海外派兵を恒常化しようとしているのです。

敗戦60年、2005年を平和の年に！

今年が敗戦60年です。戦前・戦中の天皇制日本軍国主義による侵略戦争と植民地支配を反省し、二度と侵略をしないという新たな誓いの年であればなりません。この歴史的教訓を踏みにじり、憲法改悪、教育基本法改悪、自衛隊海外派兵を策動し、戦後の平和主義を根本から否定しようとする政府の動きをストップさせなければなりません。自衛隊を撤退させ、2005年を平和の年にしましょう。（2005.1.16.）

「イラクの人びとの声にこたえ自衛隊の即時撤退を求める国会請願署名」にご協力を！イラクで始まった「日本軍を含めたすべての占領軍をイラクから撤退させるための署名運動」に日本から呼応し、市民運動の呼びかけが始まりました。両方の署名は、日本の国会および首相宛に請願署名として提出される予定です。

アメリカの戦争拡大と日本の有事法制に反対する署名事務局

〒580-0023 大阪府松原市南新町 3-3-28 阪南中央病院労働組合 気付

FAX 072-331-1919 e-mail: stopuswar@jca.apc.org <http://www.jca.apc.org/stopUSwar/index.html>